

2021年度(2022年3月期) 第1四半期決算説明資料(IFRS)

IHI

2021年8月10日

株式会社 IHI



目次

1. 2021年度第1四半期 連結決算

連結決算総括.....	4
連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書).....	5
報告セグメント別内訳.....	6
金融損益等.....	10
連結財政状態計算書.....	11
連結キャッシュ・フロー計算書.....	12
補足資料.....	13

2. 2021年度 連結業績見通し

通期業績見通し.....	15
報告セグメント別内訳.....	16

3. 報告セグメント別の概況

資源・エネルギー・環境.....	19
社会基盤・海洋.....	21
産業システム・汎用機械.....	23
航空・宇宙・防衛.....	25

<参考資料>.....	27
-------------	----

※ 各項目の金額は億円未満を切り捨てて表示している。

1. 2021年度第1四半期 連結決算

- 全社で営業利益は黒字化。
- 資源・エネルギー・環境, 社会基盤・海洋, 産業システム・汎用機械の3セグメントで新型コロナウイルス感染拡大前(2019年度1Q)の水準の売上収益・営業利益を確保。
- 航空・宇宙・防衛は, 民間向け航空エンジンで新型コロナウイルス感染拡大の影響が残るものの, スペアパーツの販売は緩やかに回復。
- 前年度に引き続き, 「プロジェクトChange」に基づく成長事業創出の投資原資確保を目的とした保有資産売却を一部実行。
- 運転資本を含むキャッシュ・フローの状況は, 見通しに対し順調に推移。

1. 2021年度第1四半期 連結決算 連結決算の概要(連結受注高, 連結損益計算書)

(億円)

	'20年度1Q	'21年度1Q	増 減
受 注 高	1,862	2,415	552
売 上 収 益	2,175	2,452	276
営 業 利 益	▲ 79	202	281
税引前四半期利益	▲ 69	217	286
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	▲ 61	141	203

'20年度1Q: 日本基準からIFRSに組み替えた金額を記載。以下のスライドも同じ。

売上平均レート(米ドル) '20年度1Q 107.37円
'21年度1Q 110.44円

1. 2021年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(連結受注高・連結受注残高)

(億円)

	受 注 高			受 注 残 高		
	'20年度1Q	'21年度1Q	増 減	'20年度末	'21年度1Q末	増 減
資源・エネルギー・環境	458	608	150	4,823	4,677	▲ 145
社会基盤・海洋	289	447	157	2,264	2,376	112
産業システム・汎用機械	740	916	175	1,753	1,777	23
航空・宇宙・防衛	319	388	69	2,434	2,352	▲ 82
報告セグメント計	1,807	2,361	553	11,275	11,183	▲ 92
そ の 他	146	144	▲ 2	374	385	10
調 整 額	▲ 92	▲ 90	1	-	-	-
合 計	1,862	2,415	552	11,650	11,568	▲ 81

海外受注高・受注残高	712	972	260	3,132	2,890	▲ 242
海外受注高・受注残高比率	38%	40%	2%	27%	25%	▲ 2%

1. 2021年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益)

(億円)
(参考:試算値)

	売上収益			営業利益			売上収益	営業利益
	'20年度1Q	'21年度1Q	増減	'20年度1Q	'21年度1Q	増減	'19年度1Q	
資源・エネルギー・環境	640	748	107	▲29	▲2	26	643	▲48
社会基盤・海洋	319	346	26	17	24	6	320	25
産業システム・汎用機械	779	888	109	▲14	29	43	863	3
航空・宇宙・防衛	427	441	14	▲54	▲69	▲14	739	33
報告セグメント計	2,166	2,424	257	▲79	▲18	61	2,565	13
その他	94	109	15	▲1	1	2		
調整額	▲85	▲81	3	1	218	217		
合計	2,175	2,452	276	▲79	202	281		

海外売上収益	820	1,171	350
海外売上収益比率	38%	48%	10%

'19年度1Q: 日本基準をベースにIFRS値を試算した金額を記載。

1. 2021年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(営業利益の前期比増減要因)

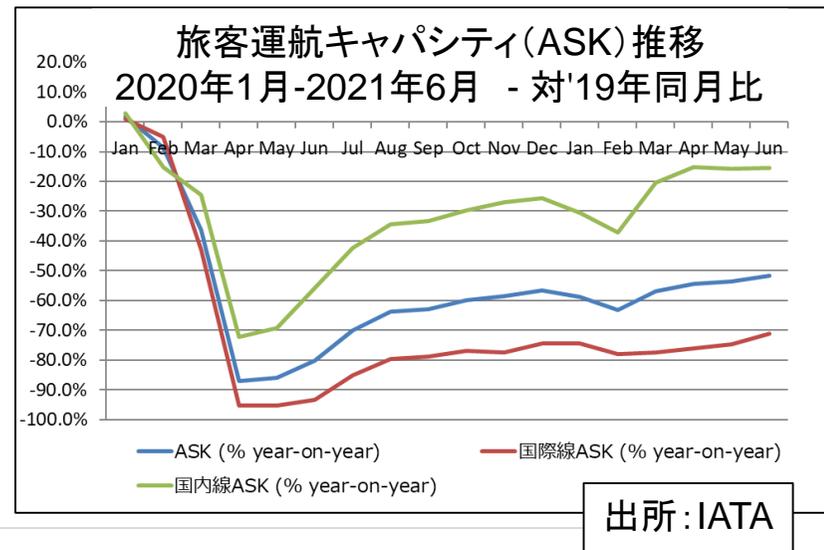
(億円)

	売上収益の 増減	工事採算の 変動	為替の変動	販管費の 変動	その他損益 の増減	合 計
資源・エネルギー・環境	11	25	1	▲ 7	▲ 4	26
社会基盤・海洋		8		▲ 3	1	6
産業システム・汎用機械	46	15		▲ 15	▲ 3	43
航空・宇宙・防衛	▲ 44	17	9		4	▲ 14
報告セグメント計	13	65	10	▲ 25	▲ 2	61
そ の 他	6			▲ 4		2
調 整 額	4			▲ 3	216	217
合 計	23	65	10	▲ 32	215	281

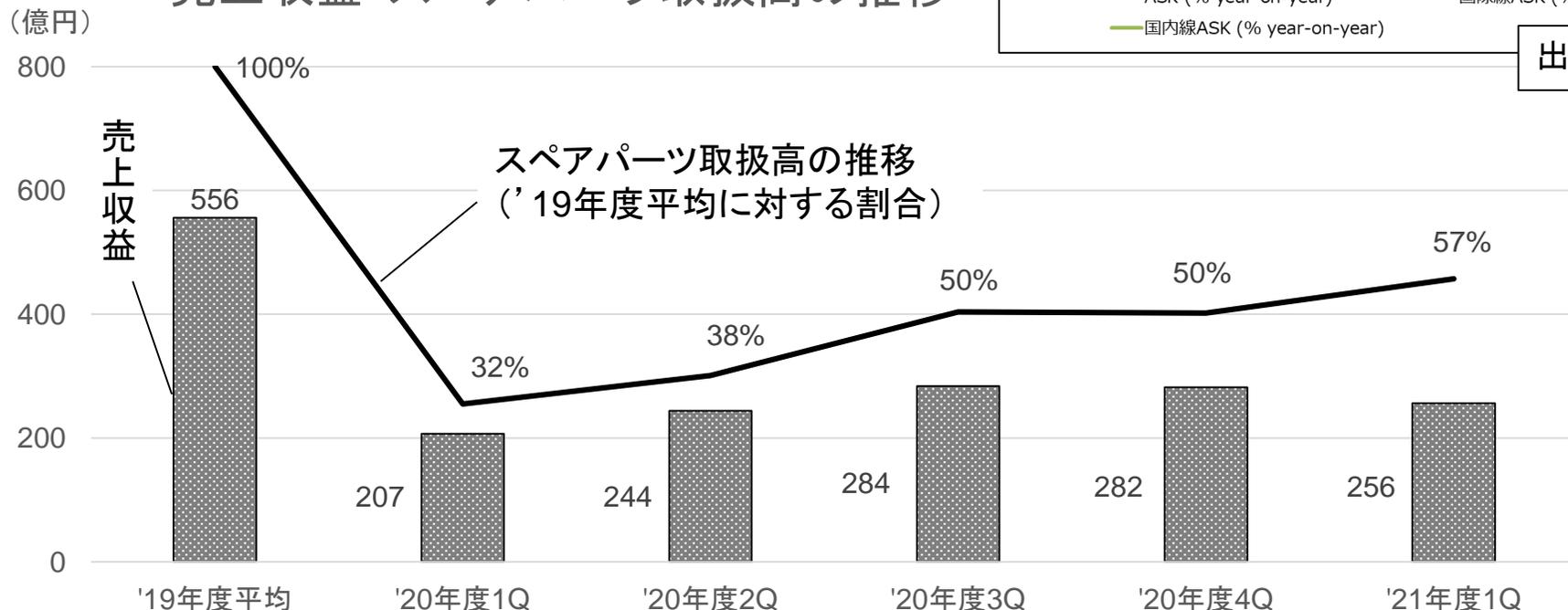
報告セグメント別・要因別の数値の合計と合計欄の数値は四捨五入の関係で一致しない場合がある。

1. 2021年度第1四半期 連結決算 報告セグメント別内訳(民間向け航空エンジンの状況)

IATAのデータが示すように、旅客運航需要は'20年度1Qを底に緩やかに回復しており、そのトレンドでスペアパーツの取扱高が回復している。



民間向け航空エンジン 売上収益・スペアパーツ取扱高の推移



1. 2021年度第1四半期 連結決算 金融損益等

(億円)

	'20年度1Q	'21年度1Q	増 減
為替差損益	▲ 8	▲ 4	3
持分法による投資損益	23	25	1
その他の金融損益	▲ 5	▲ 5	0
金融損益等	9	14	4

期末日レートの変動(米ドル) '20年度1Q ▲1.09円 (期首108.83円→1Q末107.74円)
'21年度1Q ▲0.09円 (期首110.65円→1Q末110.56円)

1. 2021年度第1四半期 連結決算 連結財政状態計算書

	(億円)		
	'20年度末	'21年度1Q末	増減
資産合計	18,328	17,718	▲ 610
(うち 現金及び現金同等物)	(1,207)	(857)	(▲ 350)
(うち 営業債権, 契約資産)	(4,563)	(3,987)	(▲ 576)
(うち 棚卸資産)	(3,264)	(3,530)	(265)
負債合計	15,051	14,302	▲ 748
(うち 営業債務等)	(2,344)	(2,080)	(▲ 263)
(うち 契約負債)	(1,658)	(1,683)	(25)
(うち 有利子負債残高)	(6,059)	(5,648)	(▲ 410)
社債及び借入金	(4,631)	(4,240)	(▲ 391)
リース負債(※1)	(1,428)	(1,408)	(▲ 19)
資本合計	3,277	3,415	138
親会社の所有者に帰属する持分	3,007	3,144	136
非支配持分	269	271	2
負債・資本合計	18,328	17,718	▲ 610
D/Eレシオ(※2)	1.85倍	1.65倍	▲ 0.20倍
親会社所有者帰属持分比率(※3)	16.4%	17.7%	1.3%

(※1) 日本基準におけるオペレーティング・リース相当の負債('20年度末:1,119億円, '21年度1Q末:1,148億円)を含んでいる。

(※2) D/Eレシオ=有利子負債/資本合計 (※3) 親会社所有者帰属持分比率=親会社の所有者に帰属する持分/負債・資本合計

1. 2021年度第1四半期 連結決算 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)			
	'20年度1Q	'21年度1Q	増 減
税引前四半期利益	▲ 69	217	286
減価償却費(※1)	175	168	▲ 7
運転資本増減(※2)	▲ 181	136	317
その他	▲ 192	(※3) ▲ 505	▲ 312
営業キャッシュ・フロー	▲ 266	16	283
投資キャッシュ・フロー	▲ 245	91	337
フリー・キャッシュ・フロー	▲ 512	107	620
財務キャッシュ・フロー	▲ 128	▲ 458	▲ 329

(※1) 減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示しており、開発資産、特許権、その他の無形資産の償却費を含んでいない。

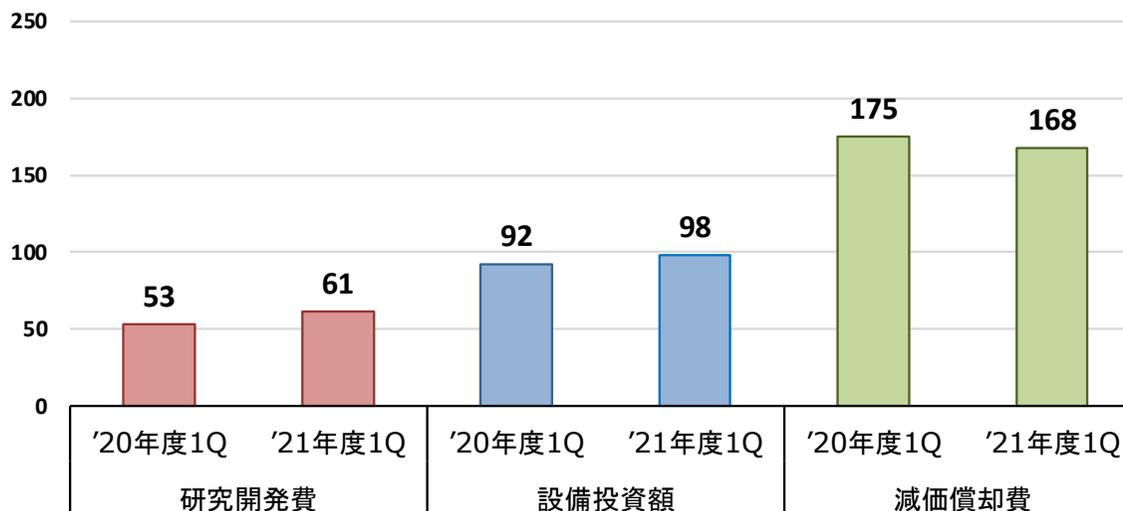
(※2) 運転資本増減は、営業債権/契約資産/棚卸資産/前払金/契約負債/営業債務/返金負債の増減額を示している。

運転資本 = 営業債権 + 契約資産 + 棚卸資産 + 前払金 - 契約負債 - 営業債務 - 返金負債

(※3) 保有資産売却益の投資キャッシュ・フローへの振替額を含む。

1. 2021年度第1四半期 連結決算 補足資料

(1) 研究開発費・設備投資額・減価償却費 (億円)



設備投資額、減価償却費は、有形固定資産、投資不動産、使用権資産およびソフトウェアに係る金額を示している。

(2) 地域別売上収益 (億円)

	'20年度1Q	'21年度1Q
日 本	1,354	1,281
ア ジ ア	231	378
中 国	225	220
北 米	249	346
中 南 米	6	33
欧 州	93	171
そ の 他	15	21
合 計	2,175	2,452

2. 2021年度 連結業績見通し

2. 2021年度 連結業績見通し 通期業績見通し

前提為替レート 米ドル 105円
(第2四半期以降)

(億円)

	'20年度 実績	'21年度 前回見通し A	'21年度 今回見通し B	増減 B-A
受注高	10,970	11,600	11,600	0
売上収益	11,129	11,800	11,800	0
営業利益	279	700	700	0
税引前利益	276	600	600	0
親会社の所有者に 帰属する当期利益	130	350	350	0

(参考) 為替感応度(為替相場の1円変動による、営業利益への影響額): 米ドル 6億円

連結キャッシュ・フローの通期見通しも変更なし

2. 2021年度 連結業績見通し 報告セグメント別内訳(受注高 通期見通し)

(億円)

	'20年度 実績	'21年度 前回見通し A	'21年度 今回見通し B	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	2,747	3,100	3,100	0
社会基盤・海洋	1,661	1,600	1,600	0
産業システム・汎用機械	3,652	4,000	4,000	0
航空・宇宙・防衛	2,604	2,700	2,700	0
報告セグメント計	10,665	11,400	11,400	0
そ の 他	788	700	700	0
調 整 額	▲483	▲500	▲500	0
合 計	10,970	11,600	11,600	0

2. 2021年度 連結業績見通し

報告セグメント別内訳(売上収益・営業利益 通期見通し)



(億円)

	売上収益				営業利益			
	'20年度 実績	'21年度 前回見通し A	'21年度 今回見通し B	増減 B-A	'20年度 実績	'21年度 前回見通し A	'21年度 今回見通し B	増減 B-A
資源・エネルギー・環境	3,176	3,400	3,400	0	191	230	230	0
社会基盤・海洋	1,579	1,800	1,800	0	171	170	170	0
産業システム・汎用機械	3,742	4,000	4,000	0	114	290	290	0
航空・宇宙・防衛	2,446	2,600	2,600	0	▲404	▲270	▲270	0
報告セグメント計	10,944	11,800	11,800	0	72	420	420	0
その他	668	600	600	0	36	30	30	0
調整額	▲484	▲600	▲600	0	170	250	250	0
合計	11,129	11,800	11,800	0	279	700	700	0

3. 報告セグメント別の概況

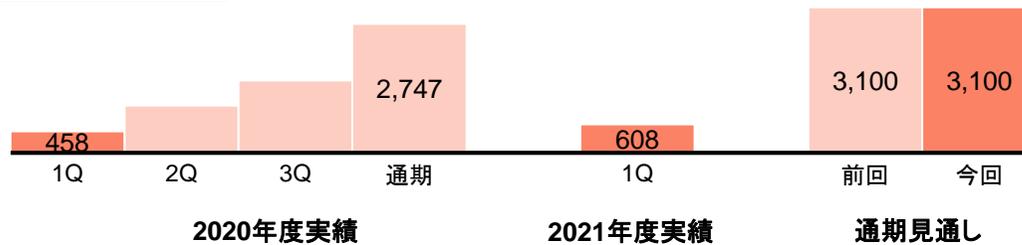
3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円/各期の金額は累計)

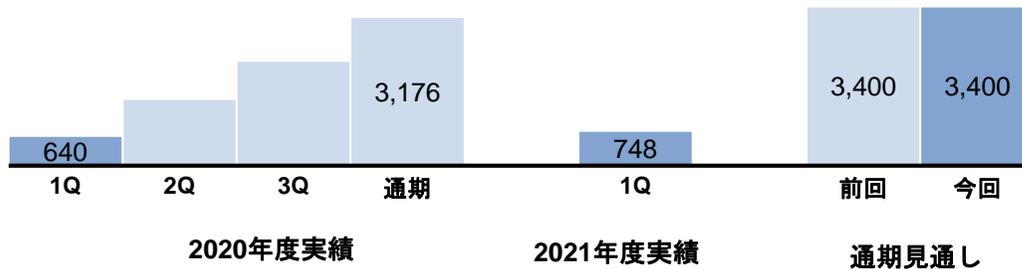
前回: 2021年5月13日公表の業績予想数値

主要事業: 原動機, カーボンソリューション, 原子力

受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

原動機で増加。

【売上収益】

カーボンソリューションや原子力で増収。

【営業利益】

カーボンソリューションの増収及び採算改善により赤字幅が縮小。

通期見直し(変更なし)

2020年度に対して

- 原子力や原動機のライフサイクルビジネスを中心に増収。
- 上記の増収の影響に加えて、原動機などの採算改善により、全体として増益。

3. 報告セグメント別の概況 資源・エネルギー・環境

(億円)

	受注高				売上収益					
	'20年度		'21年度		'20年度				'21年度	
	1Q	通期	1Q	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期 (見通し)
原 動 機	190	719	255	810	188	383	611	871	186	930
カーボン ソリューション(※)	135	1,199	154	1,440	330	787	1,192	1,594	352	1,570
原 子 力	91	426	104	310	45	100	181	327	60	430

※2021年度のSBU再編に合わせて、2020年度の実績を組み替えています。

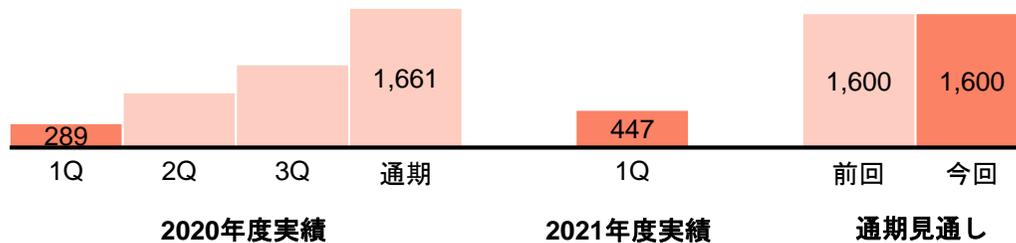
3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円/各期の金額は累計)

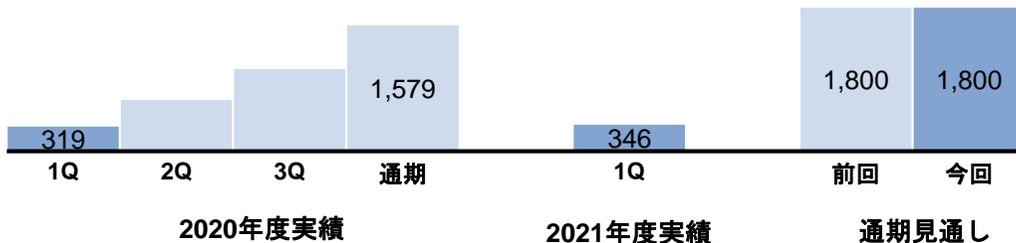
前回: 2021年5月13日公表の業績予想数値

主要事業: 橋梁・水門, シールドシステム, 都市開発,
交通システム, コンクリート建材

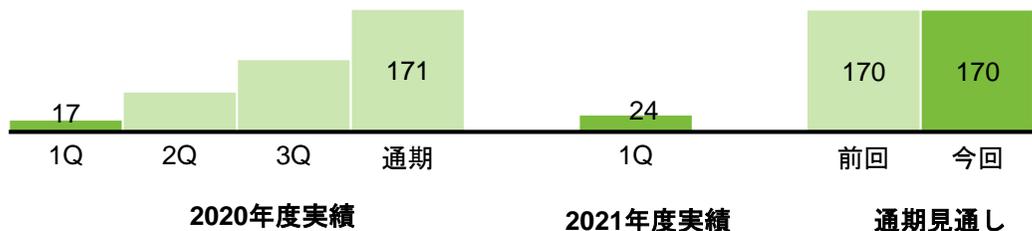
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

橋梁・水門で増加。

【売上収益】

都市開発で不動産販売が減少したものの、橋梁・水門などで増収。

【営業利益】

都市開発で減収による減益となったものの、橋梁・水門などでの増収及び採算改善により増益。

通期見通し(変更なし)

2020年度に対して

- 橋梁・水門で海外向け大型案件の進捗やライフサイクルビジネスの増加により増収。
- 都市開発で不動産販売の減少により減益となるものの、上記の増収の影響に加えて、交通システムの採算改善などにより、全体として営業利益は前年度並み。

3. 報告セグメント別の概況 社会基盤・海洋

(億円)

	受注高				売上収益					
	'20年度		'21年度		'20年度				'21年度	
	1Q	通期	1Q	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期 (見通し)
橋 梁 ・ 水 門	111	793	312	870	151	312	494	768	178	1,020
シールドシステム	47	217	12	180	35	91	123	194	58	220
都 市 開 発	65	239	46	180	66	114	189	239	46	180

※「都市開発」の豊洲地区関連情報は、P35、P36の＜参考資料＞を参照

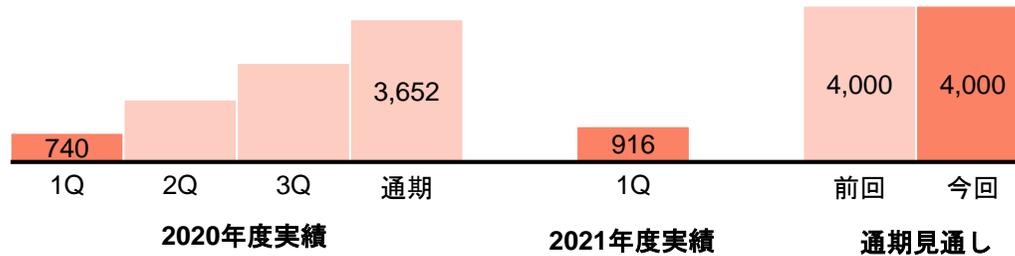
3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円/各期の金額は累計)

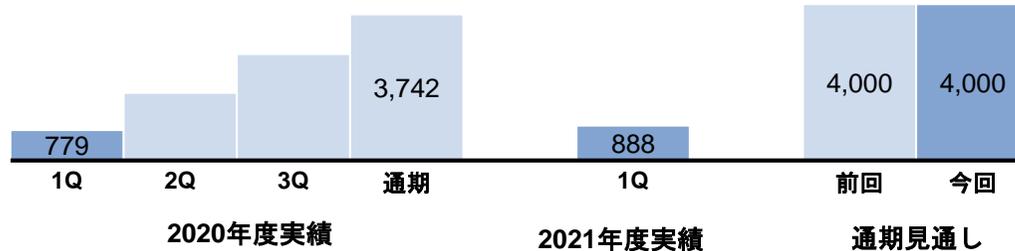
前回: 2021年5月13日公表の業績予想数値

主要事業: 車両過給機, パーキング, 回転機械, 熱・表面処理,
運搬機械, 物流・産業システム

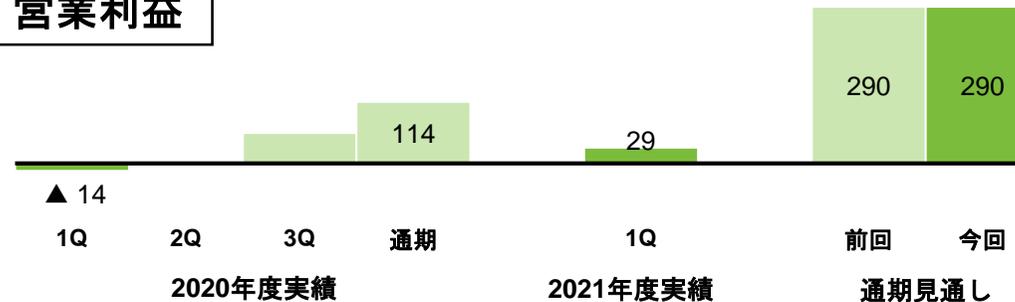
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

車両過給機や熱・表面処理で増加。

【売上収益】

運搬機械で減収となったものの、車両過給機や熱・表面処理などで増収。

【営業利益】

車両過給機や熱・表面処理などの増収及び採算改善により営業黒字。

通期見通し(変更なし)

2020年度に対して

- 自動車部品関連事業である車両過給機や熱・表面処理で、需要回復に伴い受注・売上が増加。
- 上記の増収の影響に加えて、車両過給機を中心とした調達費削減や生産性改善などのコスト構造の強化により、大幅増益。

3. 報告セグメント別の概況 産業システム・汎用機械

(億円)

	受注高				売上収益					
	'20年度		'21年度		'20年度				'21年度	
	1Q	通期	1Q	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期 (見通し)
車両過給機	283	1,469	386	1,550	282	660	1,089	1,466	383	1,550
パーキング	102	502	106	510	93	205	335	460	91	530
回転機械	120	466	136	510	103	230	360	497	119	500
熱・表面処理	56	298	107	390	67	137	214	304	87	370
運搬機械	49	296	41	300	102	197	291	400	73	390

※「車両過給機」の詳細は、P33、34の＜参考資料＞を参照

＜車両過給機の販売台数＞

(万台)

販売年度	1Q	通期
2020年度	115	551
2021年度	126	570

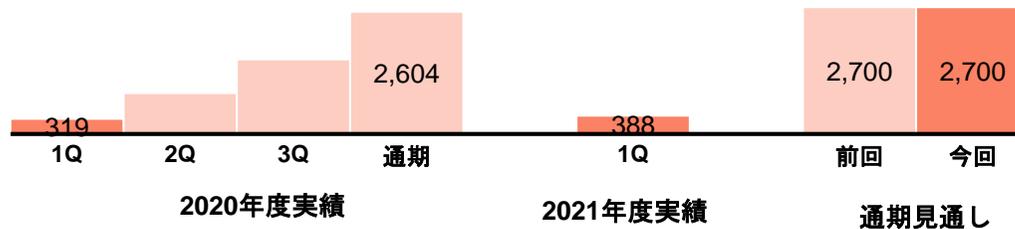
3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円/各期の金額は累計)

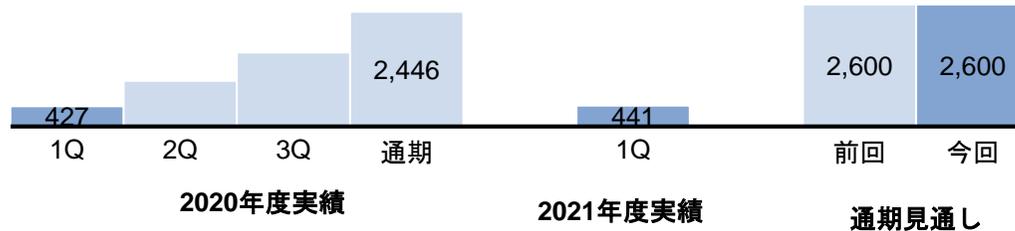
前回: 2021年5月13日公表の業績予想数値

主要事業: 航空エンジン, ロケットシステム・宇宙利用, 防衛機器システム

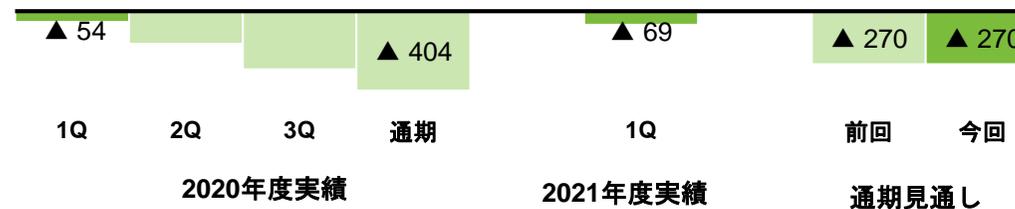
受注高



売上収益



営業利益



実績(対前年同期)

【受注高】

ロケットシステム・宇宙利用で増加。

【売上収益】

ロケットシステム・宇宙利用で減収となったものの、民間向け航空エンジンで増収。

【営業利益】

民間向け航空エンジンでのスペアパーツの販売増加による増益要因がある一方で、初期負担の重い新製エンジンの販売増加もあり赤字幅が拡大。

通期見通し(変更なし)

2020年度に対して

- 民間向け航空エンジンで、スペアパーツの販売増加による増益要因がある一方で、初期負担の重い新製エンジンの販売増加もあり、需要回復に伴う利益貢献は織り込んでいない。
- 新製エンジンの生産性改善を中心としたコスト構造の強化により、前年度比で赤字幅を圧縮。

3. 報告セグメント別の概況 航空・宇宙・防衛

(億円)

	受注高				売上収益					
	'20年度		'21年度		'20年度				'21年度	
	1Q	通期	1Q	通期 (見通し)	1Q	2Q累計	3Q累計	通期	1Q	通期 (見通し)
民間向け 航空エンジン	215	1,008	257	1,200	207	451	735	1,017	256	1,200

※「民間向け航空エンジン」の詳細は、P32の<参考資料>を参照

<民間向け航空エンジンの販売台数> (台)

販売年度	1Q	通期
2020年度	185	842
2021年度	205	999

<参考資料>

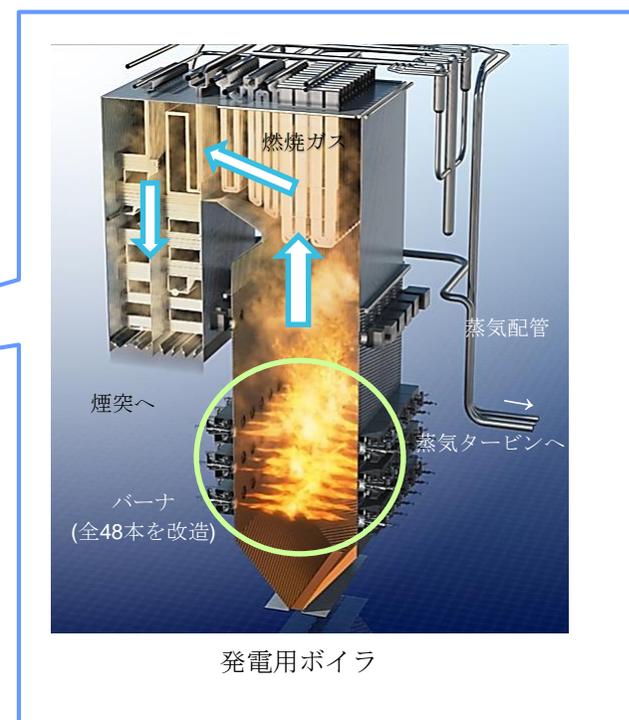
- ・当第1四半期のトピックス
- ・主要な経営指標の推移
- ・航空エンジン
- ・車両過給機
- ・都市開発

大型の商用石炭火力発電機におけるアンモニア混焼に関する実証事業の採択

株式会社JERA(以下「JERA」)及びIHIは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業「カーボンリサイクル・次世代火力発電等技術開発／アンモニア混焼火力発電技術研究開発・実証事業」に共同で応募し、このたび、採択通知を受けました。

本事業では、両社は、JERAの碧南火力発電所4号機(発電出力:100万kW)において、2024年度にアンモニア20%混焼を目指す計画です。JERAはアンモニア貯蔵タンクや気化器等の付帯設備の建設やアンモニアの調達を、IHIは実証用バーナの開発を担当し、今後、設計や工事を進めてまいります。なお、大型の商用石炭火力発電機において大量のアンモニアを混焼する実証事業は世界初となります。

また、アンモニアの大量混焼を確実にこなうため、同発電所5号機(発電出力:100万kW)において、2021年8月から12月の間、材質の異なるバーナを用いてアンモニアの小規模混焼試験を行ない、実証用バーナの開発に必要な条件を確認予定です。



<実証事業を行う碧南火力発電所(愛知県碧南市)> 写真提供:JERA

新たな民間航空エンジンの整備拠点となる鶴ヶ島工場が稼働開始



<埼玉県鶴ヶ島市の鶴ヶ島工場 外観>

6月18日、民間航空エンジンの新たな整備拠点として建設を進めていた鶴ヶ島工場(埼玉県鶴ヶ島市)の稼働を開始しました。ポストコロナの民間航空エンジン需要の回復・成長に備え、ライフサイクルビジネスの拡充を目指します。

これまで、航空エンジンの分解・洗浄・検査・部品修理・組立・試運転といった航空エンジン整備に必要な全工程を瑞穂工場(東京都西多摩郡瑞穂町)で行なっており、その高い整備能力により、世界19カ国の航空当局から整備認可を取得しております。

鶴ヶ島工場において、民間航空エンジン整備専用の盤石な品質実現体制のもと、IoT・AIなどの新技術を導入し、瑞穂工場との事業運営の相乗効果もはかりつつ、世界最高水準の航空安全品質と効率的なメンテナンスサービス体制を目指してまいります。

米国ニュースケール社への出資により、小型モジュール原子炉(SMR)事業に参画

小型モジュール原子炉(以下「SMR」)の開発を行なっている米国NuScale Power, LLC(以下「ニュースケール社」)へ出資し、SMR事業に参画することを決定しました。

複数の小型原子炉で構成するニュースケール社のSMRは、炉の一部だけを運転することで負荷追従運転が可能であることから、再生可能エネルギーの調整電源としての役割が期待されています。

同社が開発中のSMRは、原子炉の冷却性能など高い安全性を備えており、SMRとして初めて米国原子力規制委員会(NRC)の型式認定を完了しました。すでに商業化に向けた検討が進められており、世界市場において一定のシェアを占めると想定されています。

原子力事業におけるこれまでの豊富な実績を活かし、主要機器の供給やエンジニアリングを通して、事業の中核を担う計画です。



<ニュースケール社が計画を進めるSMRプラントの完成予想図>

Disclaimer: Various images, text, or other works included in this material are copyright © 2007 or later by NuScale Power, LLC. All rights reserved. The works owned by NuScale Power, LLC may not be copied or used to create derivative works 29 without NuScale's express permission.

世界最大手の自動車パワートレインエンジニアリング会社と 燃料電池システム向け電動ターボチャージャーの技術協力協定を締結

AVL LIST GmbH(本社:オーストリア共和国グラーツ市, 以下「AVL社」と、燃料電池システム向け電動ターボチャージャーに関し、技術協力協定(Technology Collaboration Agreement)を締結しました。AVL社は世界最大手の自動車パワートレインエンジニアリング(開発, シミュレーション, テスト)会社で、約20年前から燃料電池関連事業を進めており、多くのプロジェクトの実績があります。

今回の協業では、まずはAVL社にて現在開発中の商用車向けHytruck(※)燃料電池システムに、IHIが開発中の電動ターボチャージャーを搭載する予定であり、既に試作品を供給しています。

AVL社のもつ燃料電池システム、パワートレイン、バッテリー、モーターなどの知見、技術と、IHIのもつ内燃機関、車両用ターボチャージャーの知見、技術を、協業により活かし、より高効率な燃料電池パワートレインシステム実現を目指します。

(※)オーストリア政府によりサポートを受けているAVL社の開発プロジェクト名



＜IHI燃料電池システム向け電動ターボチャージャー＞

主要な経営指標の推移

	日本基準			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
受注高	13,898億円	15,050億円	13,992億円	13,739億円
売上収益	14,683億円	15,903億円	14,834億円	13,865億円
営業利益	473億円	722億円	824億円	607億円
親会社の所有者に帰属する当期利益	52億円	82億円	398億円	128億円
営業CF	653億円	990億円	464億円	145億円
投資CF	▲ 289億円	▲ 479億円	▲ 792億円	▲ 758億円
FCF	364億円	510億円	▲ 328億円	▲ 613億円
配当	0円/株	中間3円/株 期末30円/株 (期末は、株式併合後)	70円/株 (中間30円, 期末40円)	50円/株 (中間30円, 期末20円)
ROIC	5.0%	7.7%	8.7%	5.7%
営業利益率	3.2%	4.5%	5.6%	4.4%
CCC	87日	83日	97日	120日
D/Eレシオ	1.10倍	0.92倍	0.93倍	1.38倍
ROE	1.6%	2.6%	11.8%	3.8%
親会社所有者帰属持分比率	18.8%	19.9%	21.0%	18.7%

IFRS			
2019年度	2020年度	2021/1Q	2021年度 (見通し)
12,800億円	10,970億円	2,415億円	11,600億円
12,631億円	11,129億円	2,452億円	11,800億円
478億円	279億円	202億円	700億円
82億円	130億円	141億円	350億円
424億円	363億円	16億円	600億円
▲ 855億円	▲ 404億円	91億円	▲ 300億円
▲ 430億円	▲ 41億円	107億円	300億円
50円/株 (中間30円, 期末20円)	0円/株	-	60円/株 (中間30円, 期末30円)
4.1%	2.2%	-	5.5%
3.8%	2.5%	8.3%	5.9%
92日	124日	-	110日
2.00倍	1.85倍	1.65倍	1.57倍
2.8%	4.5%	-	11.2%
15.0%	16.4%	17.7%	

ROIC: (営業利益+受取利息・配当金)税引後 / (親会社の所有者に帰属する持分+有利子負債)

CCC: 運転資本 / 売上収益 × 365日

D/Eレシオ: 有利子負債 / 資本

ROE: 親会社の所有者に帰属する当期利益 / 親会社の所有者に帰属する持分

親会社所有者帰属持分比率: 親会社の所有者に帰属する持分 / 負債・資本合計

売上収益・機種別累計販売台数推移

	日本基準								IFRS			主要搭載機
	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21年度 1Q	
売上収益（億円）	1,436	1,698	2,260	2,670	2,991	2,915	2,810	3,185	2,224	1,017	256	
累計販売台数（台）												
V2500	4,980	5,468	5,969	6,469	6,896	7,236	7,508	7,688	7,735	7,740	7,742	エアバス A319/320/321
GE90	1,399	1,589	1,806	2,039	2,257	2,457	2,617	2,715	2,824	2,885	2,894	ボーイング B777
CF34	3,242	3,548	3,820	4,156	4,471	4,821	5,085	5,331	5,611	5,798	5,830	リージョナルジェット (70～110席級)
GEnx	118	259	468	751	1,035	1,295	1,542	1,826	2,159	2,328	2,364	ボーイング B787/B747-8
PW1100G					16	148	398	1,058	1,784	2,144	2,251	エアバス A320Neo
Passport20							13	66	142	202	221	ボンバルディア社 Global7500
合計	9,739	10,864	12,063	13,415	14,675	15,957	17,163	18,684	20,255	21,097	21,302	

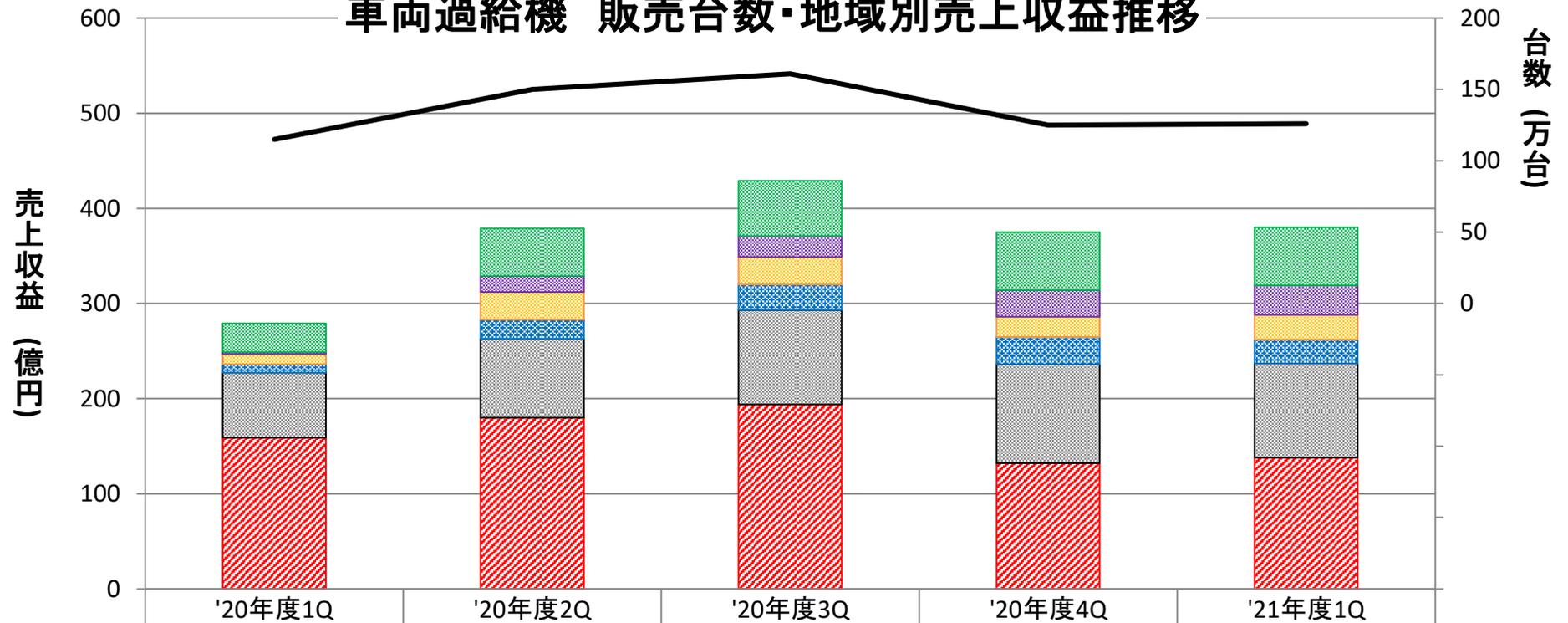
※販売台数は、機体メーカーに引き渡した台数であり、工場出荷台数とは異なる。

地域別売上収益推移

(億円)

	実績										見通し	
	日本基準							IFRS				
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21年度		
										1Q	通期	
日 本	339	353	375	346	389	398	446	391	354	99	370	
ア ジ ア	248	298	275	216	158	117	110	107	85	25	110	
中 国	181	234	243	249	485	719	631	572	665	138	610	
北 米	13	16	18	24	33	84	116	108	90	26	140	
中 南 米	0	0	7	34	61	74	75	66	69	31	110	
欧 州	432	602	756	743	617	811	513	289	199	61	210	
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	
合 計	1,216	1,507	1,677	1,616	1,746	2,205	1,895	1,536	1,466	383	1,550	

車両過給機 販売台数・地域別売上収益推移



	'20年度1Q	'20年度2Q	'20年度3Q	'20年度4Q	'21年度1Q
欧州	30	50	58	61	61
中南米	2	17	22	28	31
北米	11	29	29	21	26
アジア	9	20	27	29	25
日本	68	83	99	104	99
中国	159	180	194	132	138
合計	282	378	429	377	383
— 台数	115	150	161	125	126

(1) 豊洲地区 賃貸収入の実績推移

(億円)

	実績										見通し	
	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20年度		'21年度	
									1Q	通期	1Q	通期
賃貸収入	92	91	93	101	93	92	93	94	30	123	30	120

(2) 豊洲地区 賃貸収入, 賃貸費用実績(当期)

(億円)

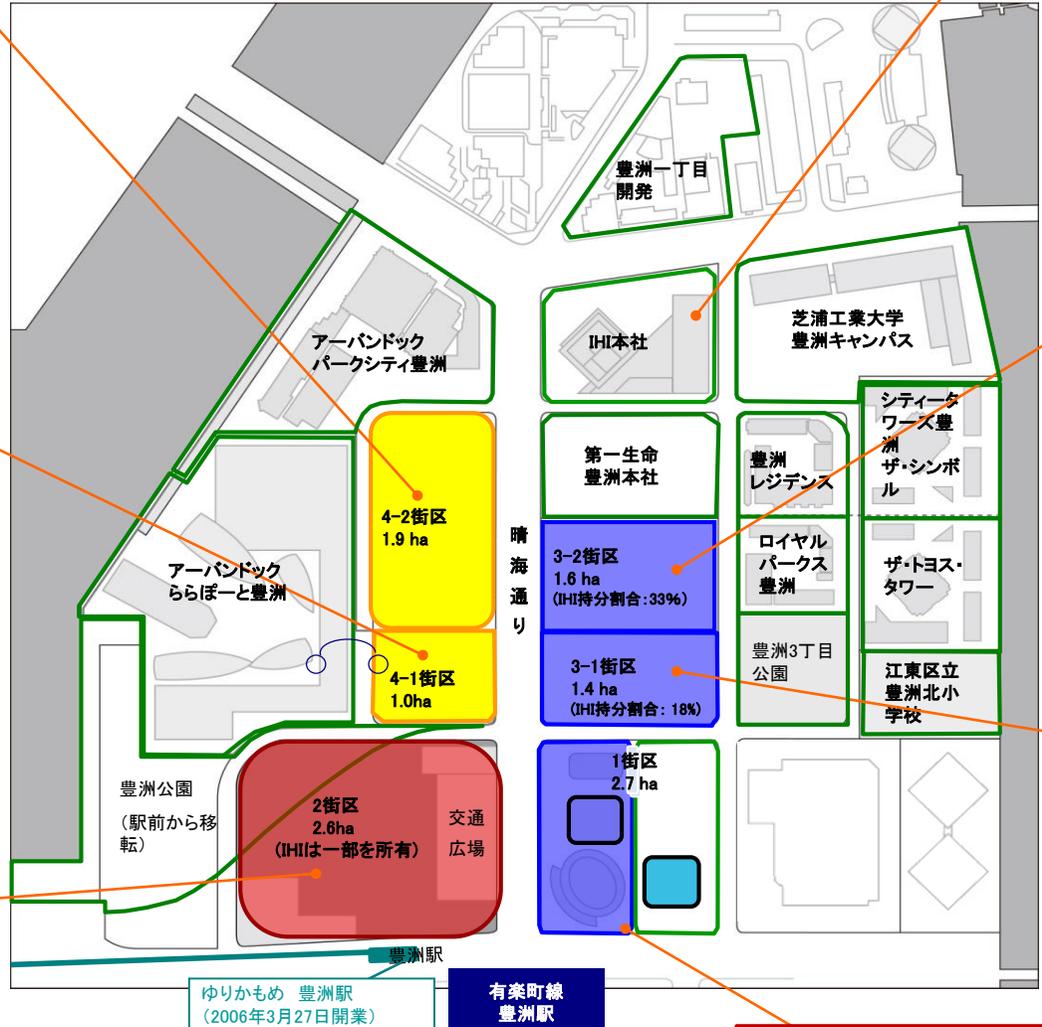
	賃貸収入	賃貸費用		差額
		減価償却費	その他	
'21年度1Q	30	13	10	6

豊洲1~3丁目地区 開発マップ

豊洲4-2街区開発計画
敷地面積: 19,493㎡
2022年春着工～2025年春竣工予定

アーバンドック ららぽーと豊洲ANNEX (三井不動産)
地上5F, 高さ約25m, 延床面積: 24,721㎡
2006年10月開業

豊洲ベイスайдクロスタワー(AC棟) (IHI, 三井不動産)
地上36F, 高さ178m, 延床面積約185,000㎡
2020年3月竣工



豊洲IHIビル
地上25F, 高さ: 約125m, 延床面積: 97,617㎡
2006年2月竣工



豊洲フォレシア (IHI, 三菱地所(SPC))
地上16F, 高さ: 約75m, 延床面積: 101,503㎡
2014年7月竣工

豊洲フロント (IHI, 三菱地所(SPC), 三菱UFJ信託銀行)
地上15F, 高さ: 約75m, 延床面積: 106,861㎡
2010年8月竣工

豊洲センタービル
地上37F, 高さ: 約165m, 延床面積: 100,069㎡
1992年10月竣工

豊洲センタービルアネックス
地上33F, 高さ: 約150m, 延床面積: 105,448㎡
2006年8月竣工

シビックセンター棟: 2015年9月開業
消防署棟: 2016年6月竣工

IHI所有地	約5ha
--------	------

- 建物賃貸
- 土地賃貸
- 建物賃貸(借地)
- 第一種市街地再開発事業 ※1
- 売却・寄付・交換済

※1 都市再開発法で定める手法の一つ

IHI

Realize your dreams

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際に業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。実際の業績に与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く政治、経済情勢、対ドルをはじめとする円の為替レートなどがあります。